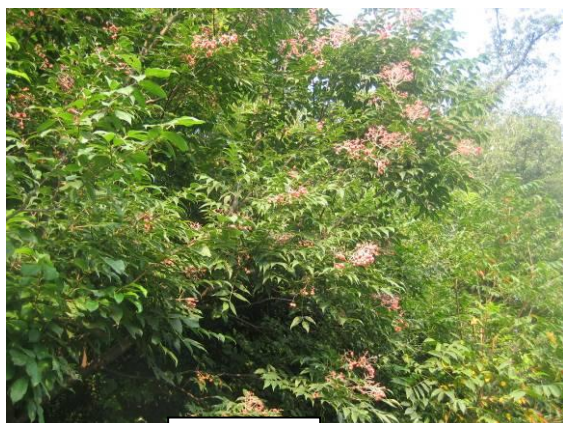


お鍬山 植物たより (H25. 8. 15)

猛暑の毎日ではありますが、それにめげることなく雑草は繁茂しています。遊歩道の散歩にはオオアレチノギクやクズが遊歩道の一部を覆って歩行を妨げ、ヨウシュヤマゴボウの黒く熟した実がいまにも裂けて衣服に赤紫色の汁をしみ出そうである衣服が心配になります。またカナムグラやママコノシリヌグイの棘が刺さるのを避けるのが大変です。

交差点「西山橋西」～「伊保橋南」間の市道沿いでは赤い果実のゴンズイと先が5裂の白い花のクサギが目立ちます。(南側の遊歩道沿いにもゴンズイ・クサギを見ることができます。) 前回に報告しましたコマツナギ、ヤマハギはいまも咲き続けています。



ゴンズイ



クサギ

この市道沿いからのお鍬山への登り口にはワルナスビがナスの花に似た淡紫色の花を咲かせています。東側遊歩道、桜の木の木陰にはヤブミョウガの白い花と球形の熟すまへの青い果実を同時に見ることができます。また、西側、物置のある豊田高校沿いの舗装された進入路には、いたるところで咲いていて、住宅地にも侵入しているタカサゴユリがここでも咲いています。

なお、遊歩道を散歩中、「カナブン・アブラゼミ・スズメバチ・カブト・カマキリ・ニイニイゼミ・シオカラ・アゲハ」と小学生がメモしたと思われるメモ書きを拾いました。夏休みの宿題でお鍬山に調べにきたのでしょうか。



ヤブミョウガ



タカサゴユリ